

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- INES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

Small lettering

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-80146

(43)公開日 平成8年(1996)3月26日

(51)Int.Cl.⁶

A 01 K 97/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

M

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平6-254077

(22)出願日 平成6年(1994)9月12日

(71)出願人 594038841

猪狩 真一郎

栃木県宇都宮市大通り4-3-13

(72)発明者 猪狩 真一郎

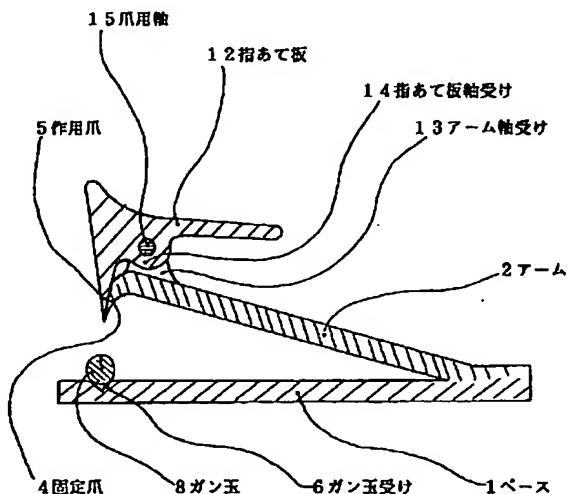
栃木県宇都宮市大通り4丁目3番13号

(54)【発明の名称】 ガン玉外し工具

(57)【要約】

【目的】 魚糸に取り付けたガン玉を外す工具に関するものである。

【構成】 ガン玉受け(6)を設けたベース(1)に固定爪(4)とアーム軸受け(13)を設けたアーム(2)を設ける。さらに、作用爪(5)と指あて板軸受け(14)を設けた指あて板(12)をアーム軸受け(13)に爪用軸(15)で軸着する。そしてアーム(2)は指あて板(12)を押すことによってベース(1)の方向にたわみ、作用爪(5)と固定爪(4)は作用軸(15)を軸に作動し、密着または分離する。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (イ) ガン玉受け(6)を設けたベース(1)に固定爪(4)を設けたアーム(2)を設ける。

(ロ) 作用爪(5)を設けたスライドアーム(3)をアーム(2)に設ける。以上のごとく構成された、ガン玉外し工具。

【請求項2】 (イ) ガン玉受け(6)を設けたベース(1)に固定爪(4)とアーム軸受け(13)を設けたアーム(2)を設ける。

(ロ) 作用爪(5)と指あて板軸受け(14)を設けた指あて板(12)をアーム軸受け(13)に爪用軸(15)で軸着する。以上のごとく構成された、ガン玉外し工具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、釣糸に取り付けたガン玉を外す工具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、釣糸に取り付けたガン玉を外すには、大きめのガン玉であればベンチ状のガン玉外しがあるが、小さなガン玉は爪やナイフの刃を差し込んでこじあけたり、歯で噛んでこじあけたりしていたが、なかなか外しにくく、以外にめんどうな作業であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、釣糸に取り付けたガン玉を片手で簡単に外すことができれば、という要望にこたえるために発明されたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 いま、その構成を説明すると、

(イ) ガン玉受け(6)を設けたベース(1)に固定爪(4)を設けたアーム(2)を設ける。

(ロ) 作用爪(5)を設けたスライドアーム(3)をアーム(2)に設ける。

(ハ) アーム(2)はスライドアーム(3)の指あて部(7)を押すことによってベース(1)の方向にたわむ。

(二) スライドアーム(3)はアーム(2)上をスライドする。

そして、同じ作用をするが部分的に異なる構成となるものとして、

(イ) ガン玉受け(6)を設けたベース(1)に固定爪(4)とアーム軸受け(13)を設けたアーム(2)を設ける。

(ロ) 作用爪(5)と指あて板軸受け(14)を設けた指あて板(12)をアーム軸受け(13)に爪用軸(15)で軸着する。

(ハ) 作用爪(5)と固定爪(4)は爪用軸(15)を軸に作動し、密着または分離する。

(二) アーム(2)は指あて板(12)を押すことによ

10

ってベース(1)の方向にたわむ。

【0005】

【作用】 本案は以上のような構造であるから、これを使用するときは、ガン玉(8)の割れ目を上向きに、すなわち爪の方に向けてガン玉受け(6)に置き、指あて部(7)または指あて板(12)を押すことによってガン玉(8)の割れ目に固定爪(4)と作用爪(5)が食い込み、2枚の爪を食い込ませたまま、スライドアーム(3)を爪どうしが離れる方向にスライドさせるかまたは指あて板(12)を爪どうしが離れる方向に回転させるとガン玉(8)の割れ目が開く。

【0006】

【実施例】 実施例について図面を参照して説明する。図1において、ガン玉受け(6)はガン玉(8)が安定した状態に置けるように、又、置いたガン玉(8)の中心に固定爪(4)と作用爪(5)が来るよう設ける。スライドアーム(3)の指あて部(7)は滑り止めの突起を設けると良い。アーム(2)は指あて部(7)を押すことによってベース(1)の方向にたわむ様に製作する。スライドアーム(3)は、指あて部(7)を押し滑らせることによりアーム(2)上をスライドする。図2において、スライドアーム(3)はアーム(2)の上をスライドするが、アーム(2)から外れないように、ガイド(11)などの外れ防止機構を設けると使い勝手がよい。図3において、ベース(1)とアーム(2)の接続部に、バネ(9)と軸(10)を設けてもよい。図4においては、図1のスライドアーム(3)に代えて指あて板(12)を組み込んだものであるが、作用爪(5)を固定爪(4)から離す機構として、指あて板(12)の、作用爪(5)と反対側を押すことによって作用軸(15)を軸として作用爪(5)が固定爪(4)から離れる、すなわちガン玉の割れ目が開く。

【0007】

【発明の効果】 片手で簡単に操作でき、構造も簡単でコンパクトなので、携帯に便利である。糸切刃やヤスリを内蔵すれば、多機能工具として便利に使用出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】 スライドアームを取り付けた本発明の縦断面図

【図2】 スライドアームを取り付けた本発明の斜視図

【図3】 本発明の他の実施例の部分縦断面図

【図4】 指あて板を取り付けた本発明の縦断面図

【図5】 指あて板を取り付けた本発明の爪用軸部分の横断面図

【符号の説明】

1 ベース

2 アーム

3 スライドアーム

4 固定爪

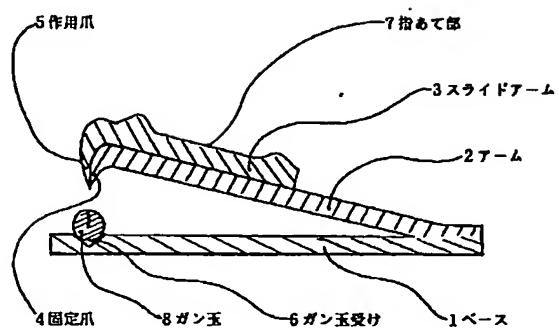
5 作用爪

6 ガン玉受け

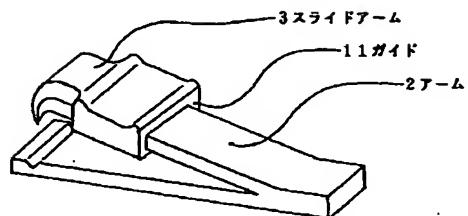
7 指あて部
8 ガン玉
9 バネ
10 軸
11 ガイド

12 指あて板
13 アーム軸受け
14 指あて板軸受け
15 爪用軸

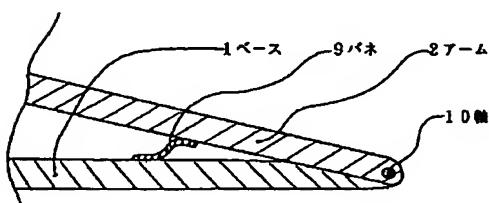
【図1】



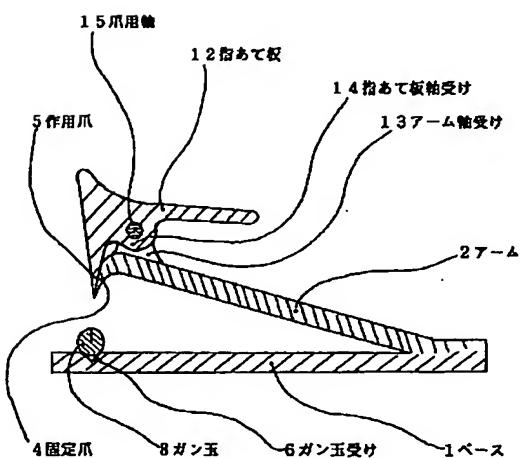
【図2】



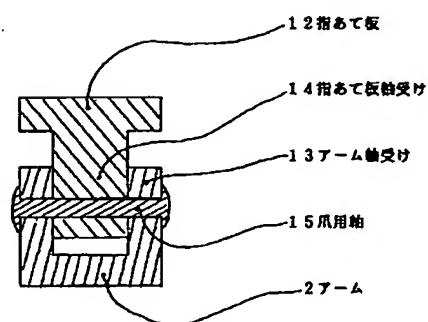
【図3】



【図4】



【図5】



DERWENT-ACC-NO: 1996-216115

DERWENT-WEEK: 199622

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Tool for removal of shot from
fishing line - with base
and arm pivoted together, base has
groove for shot, and
blade pivot mounted on end of arm and
used for opening up
shot when finger pressure is applied
on plate on its
other end

PATENT-ASSIGNEE: IKARI S [IKARI]

PRIORITY-DATA: 1994JP-0254077 (September 12, 1994)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 08080146 A	March 26, 1996	N/A
003	A01K 097/00	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 08080146A	N/A	
1994JP-0254077	September 12, 1994	

INT-CL (IPC): A01K097/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08080146A

BASIC-ABSTRACT:

The tool includes a base (1) and an arm (2) which are pivoted together of their ends. The base has a storage space (6) for placing the shot wt (8) clawed by a clamping blade of the arm. An arm bearing (13) is fixed above the blade.

A finger holding type plate support (14) is attached by the side of the energising blade (5). A plate (12) is attached to the arm bearing through a shaft (15). The arm and base are made to contact or isolate from each other by pushing the plate with the finger and in turn operating the energizing and clamping blade.

ADVANTAGE - Simplifies removal. Enables to tool to be easily carried. Enables multipurpose use.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: TOOL REMOVE SHOT FISH LINE BASE ARM PIVOT BASE GROOVE SHOT BLADE

PIVOT MOUNT END ARM OPEN UP SHOT FINGER
PRESSURE APPLY PLATE END

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1996-181539